

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成29年6月12日

【四半期会計期間】 第17期第2四半期(自平成29年2月1日至平成29年4月30日)

【会社名】 ベルグアース株式会社

【英訳名】 Berg Earth co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山口 一彦

【本店の所在の場所】 愛媛県宇和島市津島町北灘甲88番地1

【電話番号】 0895-20-8231(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部管掌 薬師寺 朝徳

【最寄りの連絡場所】 愛媛県宇和島市津島町北灘甲88番地1

【電話番号】 0895-20-8231(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部管掌 薬師寺 朝徳

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第16期 第2四半期連結 累計期間	第17期 第2四半期連結 累計期間	第16期
会計期間		自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日	自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日	自 平成27年11月1日 至 平成28年10月31日
売上高	(千円)	1,895,707	1,974,695	4,395,944
経常損失()	(千円)	163,592	155,999	91,604
親会社株主に帰属する 四半期純損失()又は 親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	41,180	120,047	13,981
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	18,472	128,846	58,732
純資産額	(千円)	1,375,034	1,274,416	1,415,959
総資産額	(千円)	4,415,958	4,222,048	3,727,160
1株当たり四半期純損失金額() 又は1株当たり当期純利益金額	(円)	32.43	94.54	1,115.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			11.01
自己資本比率	(%)	26.2	25.6	32.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	248,622	46,108	48,520
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	374,605	23,603	416,227
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	223,596	158,138	42,490
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	530,686	510,132	421,706

回次		第16期 第2四半期連結 会計期間	第17期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日	自 平成29年2月1日 至 平成29年4月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	94.35	30.80

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第16期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第17期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の売上高は1,974,695千円と前年同四半期と比べ78,988千円(4.2%)の増収となりました。損益面につきましては、営業損失161,126千円(前年同四半期は営業損失164,015千円)、経常損失155,999千円(前年同四半期は経常損失163,592千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は120,047千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失41,180千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

野菜苗生産販売事業

当事業部門におきましては、閑散期の受注拡大のために取組んできました関東向けのピーマン、メロン苗やホームセンター向けの玉ねぎ苗の増加、春期の九州向けのトマト苗等が好調に推移した結果、売上高は1,819,082千円と前年同四半期と比べ76,029千円(4.4%)の増収となりました。損益面につきましては、本格稼動したベルグ福島株式会社の生産能力が拡大したことにより生産効率が改善した結果、セグメント利益(営業利益)は46,272千円と前年同四半期と比べ8,981千円(24.1%)の増益となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
トマト苗	610,977	103.9
キュウリ苗	493,398	103.1
ナス苗	215,288	95.3
スイカ苗	190,918	103.4
メロン苗	166,364	109.6
ピーマン類苗(注)	73,618	137.4
その他	68,517	112.9
合計	1,819,082	104.4

(注) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗(7.5cm～15cm)	999,744	102.4
当社オリジナル(アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ等)	505,461	108.2
セル苗(288穴～72穴)	292,661	102.4
その他	21,215	156.2
合 計	1,819,082	104.4

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット(ポリ鉢)で育苗した一般的な苗であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器(セルトレー)で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	273,820	103.2
関東	723,676	107.4
中部・甲信越・北陸	269,107	90.2
近畿・中国	312,137	103.2
四国	99,203	104.2
九州・沖縄	141,136	130.9
合 計	1,819,082	104.4

流通事業

コンビニエンスストア部門の売上高は77,532千円(前年同四半期比7.8%増)、資材部門の売上高は36,185千円(前年同四半期比13.5%減)、農産物部門の売上高は27,644千円(前年同四半期比19.9%増)となり、流通事業全体の業績は、売上高141,363千円(前年同四半期と比べ4,558千円(3.3%)の増収)、セグメント損失(営業損失)6,571千円(前年同四半期はセグメント損失10,694千円)となりました。

海外事業

当事業部門におきましては、中国山東省にて野菜苗及び花苗の生産、鉢花(シクラメン)の生産、トマト等の青果物の生産を中心とした施設園芸、生産技術開発の為の試験等を行っております。また、当連結会計年度より海外事業部門を新設し、海外での事業拡大に向けて技術開発並びに中国国内を中心に農業関連マーケット調査や市場開拓等を積極的に行っております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14,249千円(前年同四半期比10.1%減)、損益面につきましては、海外事業部門新設に伴い人件費等が増加した結果、セグメント損失(営業損失)31,459千円(前年同四半期はセグメント損失10,482千円)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ494,888千円(13.3%)増加の4,222,048千円となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加361,121千円、仕掛品の増加98,563千円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ636,432千円(27.5%)増加の2,947,632千円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加294,923千円、短期借入金の増加200,000千円、未払金の増加165,100千円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ141,543千円(10.0%)減少の1,274,416千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期末と比べ20,544千円(3.9%)減少の510,132千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、46,108千円(前年同四半期は248,622千円の支出)となりました。これは、税金等調整前四半期純損失173,075千円、売上債権の増加361,121千円、たな卸資産の増加122,754千円、仕入債務の増加294,923千円、未払金の増加144,532千円、減価償却費96,813千円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、23,603千円(前年同四半期は374,605千円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が348,394千円減少したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、158,138千円(前年同四半期は223,596千円の収入)となりました。これは、短期借入による収入300,000千円、短期借入金の返済による支出100,000千円、長期借入金による収入100,000千円、長期借入金の返済による支出129,269千円等によるものであります。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額は34,696千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,500,000
計	3,500,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年4月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年6月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,269,900	1,269,900	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	1,269,900	1,269,900		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年2月1日～ 平成29年4月30日		1,269,900		331,494		241,494

(6) 【大株主の状況】

平成29年4月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
山口 一彦	愛媛県宇和島市	263,800	20.77
株式会社伊予銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	愛媛県松山市南堀端町1番地 (東京都中央区晴海一丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	60,000	4.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	57,100	4.50
ベルグアース従業員持株会	愛媛県宇和島市津島町北灘甲88番地1	44,316	3.49
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6番1号	32,000	2.52
ベルグアース共栄会	愛媛県宇和島市津島町北灘甲88番地1	30,900	2.43
トキタ種苗株式会社	埼玉県さいたま市見沼区中川1069	24,300	1.91
山口 真由子	愛媛県宇和島市	22,000	1.73
株式会社松山機型工業	愛媛県松山市堀江町163番地	20,000	1.57
株式会社ホーネンアグリ	新潟県長岡市飯塚1986	18,500	1.46
計		572,916	45.11

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,268,200	12,682	
単元未満株式	普通株式 1,600		
発行済株式総数	1,269,900		
総株主の議決権		12,682	

【自己株式等】

平成29年4月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ベルグアース株式会社	愛媛県宇和島市津島町北灘甲 88番地1	100		100	0.0
計		100		100	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年2月1日から平成29年4月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年11月1日から平成29年4月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,106	516,532
受取手形及び売掛金	2 955,791	2 1,316,912
商品及び製品	10,047	8,743
仕掛品	73,010	171,573
原材料及び貯蔵品	95,511	121,006
その他	99,351	92,884
貸倒引当金	1,008	1,082
流動資産合計	1,662,808	2,226,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,138,381	1,084,998
機械及び装置（純額）	264,865	255,056
土地	479,224	481,683
その他（純額）	16,722	19,015
有形固定資産合計	1,899,193	1,840,753
無形固定資産	36,459	36,510
投資その他の資産	128,698	118,214
固定資産合計	2,064,351	1,995,478
資産合計	3,727,160	4,222,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 506,663	2 801,587
短期借入金	1 400,000	1 600,000
1年内返済予定の長期借入金	244,830	253,298
未払金	124,478	289,578
未払法人税等	4,232	7,412
賞与引当金	41,840	44,800
その他	59,688	65,518
流動負債合計	1,381,732	2,062,196
固定負債		
長期借入金	750,672	712,935
資産除去債務	71,397	71,845
その他	107,397	100,655
固定負債合計	929,467	885,436
負債合計	2,311,200	2,947,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,494	331,494
資本剰余金	241,494	241,494
利益剰余金	640,256	507,511
自己株式	204	204
株主資本合計	1,213,040	1,080,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	1,189
為替換算調整勘定	1,185	1,575
その他の包括利益累計額合計	1,004	386
新株予約権	554	554
非支配株主持分	203,370	193,952
純資産合計	1,415,959	1,274,416
負債純資産合計	3,727,160	4,222,048

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
売上高	1,895,707	1,974,695
売上原価	1,536,373	1,588,089
売上総利益	359,333	386,605
販売費及び一般管理費	523,349	547,732
営業損失()	164,015	161,126
営業外収益		
受取利息	56	12
受取配当金	707	570
受取手数料	1,856	1,367
補助金収入	2,800	7,564
その他	2,497	2,270
営業外収益合計	7,917	11,784
営業外費用		
支払利息	2,746	2,242
持分法による投資損失	4,729	4,140
その他	19	274
営業外費用合計	7,494	6,656
経常損失()	163,592	155,999
特別利益		
補助金収入	243,500	-
特別利益合計	243,500	-
特別損失		
固定資産除却損	-	3,018
投資有価証券評価損	-	14,057
特別損失合計	-	17,076
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	79,907	173,075
法人税、住民税及び事業税	1,024	1,024
法人税等調整額	55,569	44,245
法人税等合計	56,593	43,221
四半期純利益又は四半期純損失()	23,313	129,854
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	64,493	9,807
親会社株主に帰属する四半期純損失()	41,180	120,047

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	23,313	129,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,920	1,008
為替換算調整勘定	921	0
その他の包括利益合計	4,841	1,008
四半期包括利益	18,472	128,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,782	119,038
非支配株主に係る四半期包括利益	64,255	9,807

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	79,907	173,075
減価償却費	102,133	96,813
貸倒引当金の増減額(は減少)	11	73
賞与引当金の増減額(は減少)	1,189	2,960
受取利息及び受取配当金	763	582
補助金収入	246,300	7,564
支払利息	2,746	2,242
持分法による投資損益(は益)	4,729	4,140
固定資産除却損	-	3,018
投資有価証券評価損益(は益)	-	14,057
売上債権の増減額(は増加)	321,925	361,121
たな卸資産の増減額(は増加)	145,749	122,754
仕入債務の増減額(は減少)	173,979	294,923
未払金の増減額(は減少)	121,480	144,532
未収消費税等の増減額(は増加)	42,644	37,570
その他	15,106	12,104
小計	288,691	52,662
利息及び配当金の受取額	763	582
利息の支払額	2,950	2,529
補助金の受取額	49,696	7,564
法人税等の支払額	7,440	936
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,622	46,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,800	1,600
定期預金の払戻による収入	-	3,600
有形固定資産の取得による支出	368,876	20,481
無形固定資産の取得による支出	552	901
保険積立金の積立による支出	3,280	3,264
その他	96	956
投資活動によるキャッシュ・フロー	374,605	23,603

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	446,100	300,000
短期借入金の返済による支出	196,100	100,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	113,586	129,269
配当金の支払額	12,222	12,188
その他	594	403
財務活動によるキャッシュ・フロー	223,596	158,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	921	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	400,552	88,426
現金及び現金同等物の期首残高	931,239	421,706
現金及び現金同等物の四半期末残高	530,686	510,132

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。当第2四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入金の未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
当座貸越極度額の総額	700,000千円	700,000千円
借入実行残高	400,000千円	600,000千円
差引額	300,000千円	100,000千円

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
受取手形	- 千円	9,007千円
支払手形	- 千円	42,041千円

- 3 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入金に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
ファンガーデン株式会社	46,000千円	63,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
給与手当	130,712千円	138,563千円
賞与引当金繰入額	14,289千円	14,370千円
荷造運賃費	115,761千円	121,436千円
貸倒引当金繰入額	11千円	3千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
現金及び預金	533,286千円	516,532千円
預金期間が3か月を超える定期預金	2,600千円	6,400千円
現金及び現金同等物	530,686千円	510,132千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年1月28日 定時株主総会	普通株式	12,697	10.00	平成27年10月31日	平成28年1月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年1月30日 定時株主総会	普通株式	12,697	10.00	平成28年10月31日	平成29年1月31日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	野菜苗生産 販売事業	流通事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,743,052	136,804	15,849	1,895,707	-	1,895,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,794	5,821	2,381	10,996	10,996	-
計	1,745,847	142,625	18,230	1,906,703	10,996	1,895,707
セグメント利益又は損失()	37,291	10,694	10,482	16,114	180,130	164,015

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 180,130千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	野菜苗生産 販売事業	流通事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,819,082	141,363	14,249	1,974,695	-	1,974,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	1,988	1,988	1,988	-
計	1,819,082	141,363	16,238	1,976,683	1,988	1,974,695
セグメント利益又は損失()	46,272	6,571	31,459	8,242	169,369	161,126

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 169,369千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	32円43銭	94円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	41,180	120,047
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額()(千円)	41,180	120,047
普通株式の期中平均株式数(株)	1,269,756	1,269,756

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年6月9日

ベルグアース株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川合 弘泰 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千原 徹也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているベルグアース株式会社の平成28年11月1日から平成29年10月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年2月1日から平成29年4月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年11月1日から平成29年4月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ベルグアース株式会社及び連結子会社の平成29年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。